



2019. 7. 3 香川県立五色台少年自然センター（香川県高松市生島町423番地）で撮影

ホタルガ

（チョウ目マダラガ科ホタルガ亜科）

頭が赤く、黒い羽に白い線があるのが特徴です。北海道から沖縄まで日本全国とくちょうに生息せいそくしていて、6～9月頃に見られます。羽を広げたときの大きさは4～5 cm程度で、昼間の山林をひらひらと飛んでいます。幼虫は、サカキやヒサカキなどツバキ科の植物を食べて成長します。ようちゆう

ホタルは、シギタリスという植物と同じ毒をもっていることが知られています。そのため、鳥はホタルを食べません。このことから、ホタルガは鳥に食べられないようにホタルにぎたい※擬態したと考えられています。

擬態・・・動物の色や形が何かほかのものに似ること。